

税込アップをめざす経済対策!

3月・6月議会でリフォーム助成制度の早期導入を求めて来ました。リフォーム助成制度とは、市民が市内の施工業者を使い、リフォームをした際にその費用の一部を助成するものです。助成金が市内に落ちる仕組みであり、経済効果を生み、雇用を生み出し、税込アップにつながります。

助成金の一部を、市内店舗限定で使える商品券(地域通貨)として渡すことで、商業にも経済効果が波及します。家をリフォームするわけですから、市外への転出防止や定住促進にもなります。本年度、全国でも300自治体で実施に向かっていきます。君津市でも早期実施を目指し、今後も議会で取り上げていきます。

身近な議会を目指して!

市民団体とともに議会改革を進める4つの請願・陳情を3月議会に提出しました。

- ①議会基本条例の制定を求める請願(議会改革の柱となる条例。全国160以上の自治体が制定)
- ②議会報告会の実施を求める陳情(議会全体として説明・対話を行うことで信頼ある議会となる)
- ③議会のオンデマンド配信を求める陳情

(インターネットでいつでも議会を見ることが出来る)

④議案に対する議員個別の賛否公表を求める陳情(誰が何に賛成したのか知る事が出来る)

3月議会では継続審査となり、6月議会において残念ながら不採択となりました。木更津は議会をケーブルテレビで中継していて、袖ヶ浦ではインターネットで見

ることが出来ます。

君津も開かれた議会を目指し、今後も議会改革の必要性を訴えていきます。



市民と請願・陳情の提出

津波を考慮していない保育園の建設

神門保育園は築40年以上がたち、老朽化から移転が決まりました。移転先は小糸川沿い、周西公民館横の人見グラウンドです。この移転計画は震災前に始まり、「津波避難は加味していない」と行政も認めています。

6月2日の本会議において行政より(仮称)新神門保育園の避難先の高台は、大和田社宅E棟付近で園児の足で25分かかるとの答弁がありました。災害時に園児を25

分歩かせることに問題はないのでしょうか。問題点として

- 1点目、道のりにして1キロ以上ある事
 - 2点目、津波の進行方向と逆方向への避難であること
 - 3点目、大和田社宅斜面はハザードマップで「がけ崩れ注意」とあること
- これらはすべて「千葉県津波避難計画策定指針」に反していることです。

(仮称)新神門保育園は100人近い園児の

命を預かる場所であり、数十年後も間違いなく使う施設です。

今の計画のままでは平屋建てで、屋上にも避難できません。せめて2階建て、あるいは屋上に避難できるように設計の見直しを求めましたが、議会ではそのまま可決されました。

「東日本大震災を教訓にする」という考えが通らなかった事が残念でなりません。

ご意見・ご感想

コメント

お名前

おところ

ご連絡先

※お手数ですがファックスでお送りください。

FAX.0439-73-0157

身近な議員をめざして

中野2-17-7、スプリングプラザ102を、私の仕事場兼相談所としました。デスクワークの時はいますのでお気軽にお立ち寄りください。また、サークル等の集まり事にもご利用いただけます。



議員力検定を受けてみました!結構難しかったですが、合格しました。議員として知っておくべき知識を勉強することが出来ました。次は議員2級合格を目指します!



きれいな政治を次の世代へ。
君津市市議会議員

すなが和良 活動報告

相談所 君津市中野2-17-7 102

住所 君津市台2-14-13

TEL/FAX 0439-73-0157

動画も配信中!すなが和良
オフィシャルサイト
すなが和良ブログ

HP <http://sunaga-kazuyoshi.com/>

HP <http://sunaga33.blog137.fc2.com/>

すなが和良

検索

携帯電話用
QRコードはこちら!



がんばろう
NIPPON

